

「学びの多様化学校」に関する鳴門教育大学からの提案について

1 「学びの多様化学校」について

（１）概要

不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成することができる学校

（２）特徴

- ・柔軟な教育課程（年間８００時間程度 ※標準授業時数１０１５時間）
- ・ゆとりある始業時間（例：９時３０分から始業）
- ・少人数集団の中で個に応じたきめ細かな支援

（３）文部科学省の方針（教育振興基本計画第４期、ＣＯＣＯＬＯプラン）

- ・令和９年度までに各都道府県・政令指定都市での１校以上の設置
- ・将来的には全国で３００校の設置を目指す

（４）全国の設置状況

２３都道府県に５８校（うち、市町村立３５校、県立２校、私立学校２１校）

2 鳴門教育大学からの提案について

去る５月８日（木）に開催された第１回徳島県総合教育会議において、鳴門教育大学から次のとおり、提案があった。

（１）提案内容

- ・県と大学が連携協働し、県立学校として大学敷地内に設置
- ・不登校が増える中学生を対象に６０人程度を受入れ
- ・大学が「不登校等に関する研究センター」を大学内に新設し、全面的に支援

（２）出席者からの意見

- ・鳴門教育大学と連携して、学びの多様化学校を設置するメリットは大きい。
例：不登校支援に関する豊富な研究や専門的知見の活用
：大学内に教員養成の学生等が多数在籍、日頃から生徒への支援が可能
- ・アクセスの関係もあるが、これを機に県内各地への設置につながれば良い。